

へいせいじゅうねんど だいさんがつききまつこうさ だいにがくねんりか
平成 十年 度 第三学期期末考査、 第二学年理科

一) 第一分野 電流による働き。

- (電流×電圧) で表される量を () という。
- 電流による発熱量は、電力に () し、電流を t 秒間流したときの発熱量 Q 「cal」を求める式は $Q = I \cdot V \cdot t$ () と表される。
- 電気器具などで、一定時間に消費した電力の量を () という。
- 磁石の力を () と言い、この力が働く空間を () という。
- 導線に電流を流すと、導線のまわりに () 状の磁界が出来る。
- 磁界の中電流が受ける力の向きは、磁界の向きと電流の () で決まる。
- 又、流す電流を強くすると、電流が受ける力の大きさは () くなる。
- コイルの中の磁界を変化させたとき、電圧が生じる事を () と言い、そのとき流れる電流を () という。この電流を強くするには、磁石を () () く動かしたり、コイルの () () を多くすれば良い。
- 一方の向きにだけ流れる電流を () () という。又、向きや強さが絶えず変化している電流を () () という。

二) 第二分野 天気の変化。

- 空気の重さによって生じる圧力を () () と言い、 () () 「記号」 () () という単位で表す。
- 快晴・晴れ・曇り等の天気は () () を観測して決める。
- 風が西から東へ向かって吹いている時、風向きは () () の風と言う。
- 一日の間で、気温が最高を示すのは () () 、最低を示すのは () () である。
- 一日の間で、気温の変化は湿度の変化と () () 的である。
- 1 m^3 の空気を含むことの出来る最大の水蒸気量を () () と言い、 () () によって変化する。
- 気温が下がって、空気中の水蒸気が () () し、水滴が出来始める温度を () () と言う。
- 1 m^3 の空気中に含まれる水蒸気量が、飽和水蒸気量の何%に当たるかを示したものを () () と言う。
- 性質の違う気団が接したとき、その境目を () () と言い、これが地表に接している所を () () と言う。
- 寒気が暖気の下に潜り込み、暖気を押し上げて進む前線を () () 、暖気が寒気の上に緩やかに這い上がりながら進む前線を () () と言う。